



本市では、令和6年度から令和8年度の3年間、上田小学校区（上田小学校・上田こども園・あゆみ保育園・へいわだい認定こども園）を「架け橋プログラム」のモデル校区に指定し、保こ小の架け橋期における教育・保育の充実を図っています。本紙を通して、モデル校区での具体的な取組を市内各施設へご紹介していきます。

保こ小で情報共有

4月6日 入学前情報交換会

上田小学校区では、入学を控えた4月6日に校区内の職員が集まり、「入学前情報交換会」を実施しました。校区で「めざす子ども像」の共有をはじめ、子ども達が安心して小学校生活をスタートできる環境づくりについて話し合いました。当日は、小学校の教室やワークスペースの有効な活用方法について、それぞれの立場から具体的な意見を交わし合う、大変有意義なスタートの場となりました。



園と小学校の職員によるワークショップの様子



子どもたちが安心できる環境づくりについて考える

4月22日 スタカリ期訪問および情報交換会

保こ小で子どもの姿を語り合う



上田小学校区では、入学2週目の4月22日に、校区内の就学前施設職員によるスタートカリキュラム期の授業参観および子どもたちの様子を参観し、同日午後に情報交換会を開催しました。今回は、公開授業等の講師である琉球大学の塚原先生も参観へ同行されました。情報交換会では、1学年担任から授業づくりの意図が示される一方、就学前施設からはこれまでの成長の様子が伝えられました。大学教員の専門的な視点も加わった充実した意見交換となり、子どもたちの安心な学校生活を双方で支えていく姿勢をさらに強めることができました。



通信は、豊見城市 HP に掲載しています。

豊見城市幼児教育センター

